

MOMO MAG

Love&Peach for your everyday life.

MOMOMAG

【モモマグ】

掃除 × 馬
Cleaning × *Horse*



vol.6

2025.12-2026.1

機内からの持ち出しはご遠慮ください。Please don't take it out.

COLUMN

- 旅からすべてがはじまった
- まちの自慢を、聞かせてください

peach

CONTENTS



(P04-05)

ラブミのスマートトラベル講座

(P06-07)

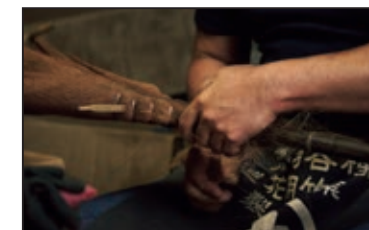
SPECIAL COMICS

「ラブミとモモモ ～心までピカピカにして、新年もいい旅を！～」

(P08-15)

掃除×馬

大地と心を清める。
九州で会う
“掃除と馬”の物語



(P16-17)

COLUMN

- Peachの舞台裏
- まちの自慢を、聞かせてください
- 旅からすべてがはじまった

(P18-21)

MOMOMAG feature in English

(P24-25)

入国書類について

(P26)

路線図





ラブミのスマートトラベル講座

かっこよく旅する人のマナーとヒント
Smart Travel with LOVE-ME

「愛あるフライトを、すべての人に。」を目指して

A flight full of respect for everyone.



Thank you for flying with Peach. As you travel through the skies, what's on your mind? Maybe you're off to see someone special, or finally heading out on a long-awaited vacation. Whatever your reason, we at Peach believe that a comfortable flight begins with kindness and cooperation from everyone on board. Even the smallest gestures of consideration from each passenger contribute to a smoother, more pleasant journey for all. We hope you enjoy your flight today. On these pages, our mascots LOVE-ME and MOMOMO will guide you through in-flight etiquette and safety tips in a fun and easy-to-understand way.

マナーを守ればみんな快適

Kindness makes the journey more comfortable for everyone.

他のお客さまにご配慮を

Please be mindful of those around you.



降機時は焦らずに

There's no need to hurry when leaving the aircraft
—thank you for exiting calmly.



何かお困りのことなどがありましたら、

どうぞお気軽に客室乗務員に声をおかけください。

If you need any assistance, don't hesitate to ask a cabin crew.

知って安心、安全のヒント

Safety Tips for a Smooth and Secure Flight

突然の揺れが起こったときには

When Experiencing Sudden Turbulence



重心を低く、
下からひじ掛けを掴もう

Lower your center of gravity and
hold the armrest from underneath.

化粧室では、手すりを掴んで
重心を低くしよう

In the restroom, use the handrail to
steady yourself and stay balanced.

お子さまの怪我を防止

Preventing Injuries to Children



座席のひじ掛けやシートベルトの金具に
手や指を挟まないように注意しよう

Watch out for little fingers—take care not to get
hands caught in armrests or seatbelt buckles.



HOW TO USE MOMOMAG

「MOMOMAG」の使い方



STEP 01 メモを開いてください
Open your memo.

STEP 02 今回の特集をよく読んで
Take your time reading this issue's feature.

STEP 03 自分だけの
「MOMOメモ」を書き残そう
Write down your own thoughts in the "MOMO Memo".

STEP 04 飛行機を降りてからも
自分の気持ちを見つめてみよう
Revisit your reflections even after your flight.

Peachのフライトには、

Wi-Fiもデジタルコンテンツもありません。

だからこそ、旅をもっと楽しんでいただくために、
このMOMOMAGに、自分と向き合う時間をもつ
仕掛けをご用意しました。

MOMOMAGを片手に、思いついたことを
「MOMOメモ」に書き出してみませんか？

※機内誌への書き込みはご遠慮ください！

それでは、MOMOMAGの使い方をご紹介します。

Peach flights don't offer Wi-Fi or digital entertainment. That's why MOMOMAG is designed to help you enjoy your journey in a different way—by giving you a chance to pause and reflect. With your copy of MOMOMAG in hand, take a moment to jot down your thoughts in the "MOMO Memo" section. Let your mind wander, capture ideas, or simply enjoy the quiet. Just a small favor—please don't write directly in the magazine!

Q.今はどんな気持ち？

How are you feeling now?

ワクワク or しんみり

Excited or a little sentimental?

自分の気持ちと向き合って、
今どんな気持ちか考えてみよう。

Take a moment to face your feelings and
think about how you feel right now.

ラブミとモモモ

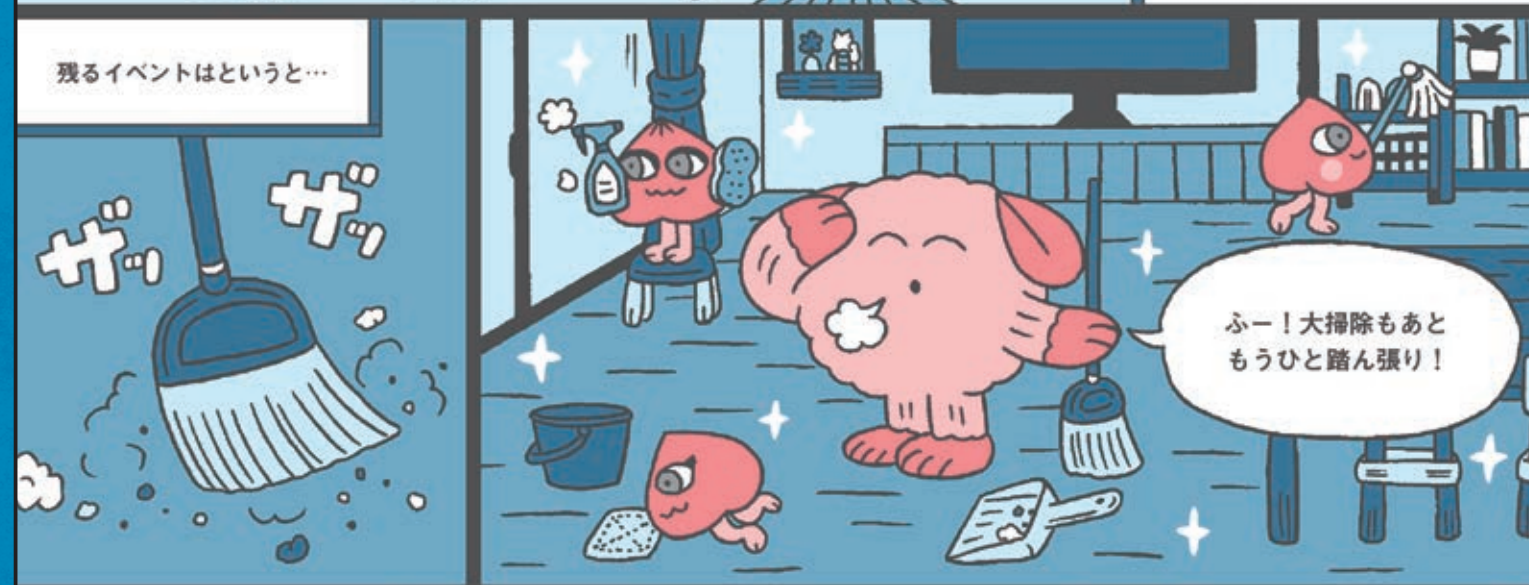
～心までピカピカにして、新年もいい旅を!～

まんが／オザキエミ

2025年いろいろな場所に
旅行してきたラブミたち一行。



残るイベントはというと…



すみずみまでキレイに
なっていくのは
心も洗われるようだね



7キ
7キ

まるで新しい自分に
生まれ変わってみたい!



忙しくてついつい
後回しにしちゃうけれど



新年からは毎日ちょっとずつ
こまめな掃除を心がけていこうか



みんな願事
考えてる?



やっぱり今年も
アレかなって!

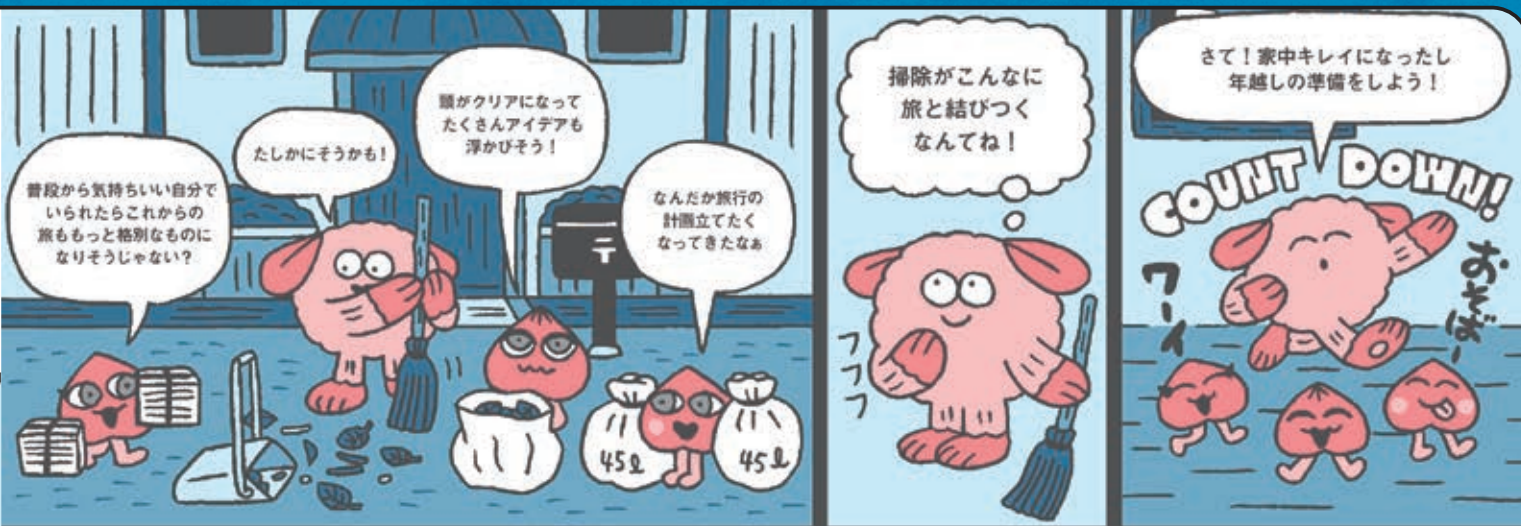
たぶん
同じだ!



チャリーン!



また1年、みんな元気で安全に
目一杯旅を楽しめますように!



掃除 × 馬

Cleaning Horse

「大地と心を清める。
九州で出会う“掃除と馬”の物語」

「あなたにとって、掃除はどんな時間ですか？」九州を旅して出会ったのは、
自然とともに生きる人々が、馬を世話し、道具を手入れし、暮らしを清める風景。日本では2026年の干支は馬(午)ですが、
新たな一年を晴れ晴れとした気持ちで迎えるために、今日から掃除を習慣にしていかがですか？

枅野俊明さんが教えてくれた 日々をたのしむための 『掃除道』

掃除はうつくしい心と出会う旅

66 禅の教えにある「一掃除、二信心」。この言葉にあるように禅僧たちは「最初にやるべきは掃除で、信心はそれが済んでからのこと」と教えられます。禅において掃除は心を磨くための修行そのもの。禅僧が寺院で行う日々の務めである「作務」では、事務作業、法要準備、炊事や庭の手入れといったそれぞれの役割に加え、必ず掃除を行います。朝の務めの後、昼食前、そして午後にもう一度、全員で一斉に拭き掃除や掃き掃除をします。寺院内の廊下がニスを塗ったようにうつくしく輝いているのは、何人もの禅僧が横一列に並び、同じ場所を何度も拭き上げているからなのです。

禅において「心の迷いが解けて、真理を会得すること」を「悟り」といいます。「悟り」に辿り着くために日々禅僧たちは修行を重ねていますが、その中でも掃除は大切な行いの1つです。ただ心を込めて掃除をすることに集中すれば、頭の中が空っぽになって悩みや迷いが消えていきます。掃除は「悟り」への道を開いてくれる行いなのです。

PROFILE

枅野俊明

ますの・しゅんみょう/1953年、神奈川県生まれ。曹洞宗徳雄山建功寺住職、庭園デザイナー、多摩美術大学名誉教授。大学卒業後、大本山總持寺で修行。禅の思想と日本の伝統文化に根ざした「禅の庭」の創作活動を行い、国内外から高い評価を得る。



66

禅では、自分の心(意業)・言葉(口業)・行い(身業)を整えることを「三業を整える」といいます。掃除をしたり、人を助けたりして立ち居振る舞いを整え、次に言葉遣いを整えると、心が自然と整うのです。人間は生まれながらにうつくしく清らかな心をもっていますが、ストレスや悩みのような埃が溜まることがあります。その要因としてインターネットやSNSの情報の誘惑や、マイナスな感情を手放せない執着心が考えられます。掃除をすれば自分の心に必要なものとそうでないものを判断できるようになり、心の驕りも晴れるかもしれませんよ。

しかし、誰だって「めんどくさい」とつつい後回しにしてしまいがちな掃除。無理して頑張るのではなく、気持ちのいい一日を過ごすための毎日の習慣にするのが大切です。少しずつでも毎日掃除をすると、習慣としてからだに染み込んで無意識にできるようになります。朝早く起きて、どこか1ヵ所でもよいので掃除をしてみてください。ものをもとあった場所に戻したり、空気を入れ換えてベッドカバーを整えたり、掃除のついでに花を飾ってみる。朝の掃除を習慣にすることで、夜帰ってきて心地よい時間を過ごせます。掃除は未来の自分へのプレゼントなんですよ。

部屋の掃除は、心の掃除

99



かつて馬は人の暮らしを支える大切な存在でしたが、その関係を保つためには必ず「掃除」が伴いました。馬小屋の掃除は重労働であり、終わりのない繰り返しです。しかしその行為こそが、人と馬との絆を深め、自らを整える時間となっていたのではないのでしょうか。馬の世話をし、厩舎を掃く行為は、まさに枅野さんが教えてくれた「三業を整える」という言葉に通じます。汚れを取り除き、空間を清めることは、外の環境だけでなく自らの心に積もった埃を払うことなのです。馬の息づかいを感じながら掃除をするうちに、人は自然と心を静め、謙虚さと感謝を思い出してきたのでしょう。

日本では2026年の干支は「午=馬」。十二支の中で7番目の動物であり、陽気なエネルギーに溢れる行動力の象徴です。風水では、午は流れや勢いを象徴し、停滞するのではなく流れをよくする行動を司るとされています。「陰」を払い「陽」を保つ馬のように、日々をよりのしく生きていくための方法として今日から掃除を始めてみませんか？

MOMOメモ 01

Q. 最近「掃除ができていないな」と思うところは？

Q. 掃除以外で「心がスッキリする」習慣は？

たのしく掃除をして
心からうつくしくなるう



人生を変える 棕櫚箒

福岡県・うきは市で生まれる

筑後川流域の豊かな自然に抱かれた福岡県・うきは市でつくられる棕櫚箒は、ただの掃除道具ではありません。職人の手によって編み込まれる棕櫚の繊維は、日々の暮らしに寄り添い、心を整える時間をもたらします。「掃除が変われば、生き方も変わる」——そんな想いを体感できる、人生を変える1本の箒との出会いがここにあります。

※棕櫚箒：ヤシ科の常緑樹である棕櫚（シュロ）の樹皮繊維を束ねてつくられる伝統的な箒。江戸時代から人々の暮らしを支え、天然素材特有のやわらかさと耐久性をあわせ持つ。



苦手だった掃除が
たのしくなるって？



毎日の掃除が、心を磨く時間になる。棕櫚箒のある暮らし

禅の教えのように、私たちの身近なところでも心を整える大切な行為として「掃除」が見直されています。例えば、著名な創業者たちが掃除を人材育成の基本にしたり、掃除と経営哲学を結びつけたりと、ビジネスの世界でもたびたび話題に。これから、新しい年を清々しく迎えたいと思う今こそ、掃除という日常の営みを見つめ直す良い機会。そこで注目したいのが、昔ながらの棕櫚箒です。室内掃除といえば自動掃除機が主流の時代に、なぜ箒なのか。その理由が、福岡県・うきは市でつくられる棕櫚箒との出会いにありました。棕櫚箒を手にとってみると、想像以上にやわらかくしなやか。コシがあり、やさしく床

を撫でる感触も心地良い。「樹皮の繊維に油分が含まれるので、掃くことで天然のワックス効果も期待できますよ」。そう語るのは、『まごころ工房 棕櫚の郷』の職人・木下宏一さん。この優れた毛質を支えているのが、国内有数の“水のまち”として知られるうきは市の地下水といいます。地下深くから汲み上げる阿蘇山系の地下水はほぼ中性で、この水で繊維を洗浄することで毛質が格段に良くなり、独特の使い心地が生まれるそう。実際に汎用性が高く、フローリングや畳、カーペットをきれいに掃けて、天井や壁、カーテンなど、家中のあらゆる場所に対応。薬剤を使わないので小さなお子さまやペットがいる家庭も安

心して使えて、騒音や排気もなく、時間帯を気にせず掃除できるのも魅力です。「掃除機では見過ごしがちな小さなごみも、棕櫚箒なら丁寧にかけ集めることができますし、自分の手で掃くことで、どれだけごみが取れたかも実感できます。自分が出したちりや埃と向き合うことは、日々の暮らしを振り返る行為になりますよね」と木下さん。掃除をただ単に汚れを取り除く作業で終わらず、目の前の存在に意識を向けて、生活を見つめ直す行為にすること。そのまっすぐな視点が、日常の変化や自分のコンディションに気づくきっかけとなり、暮らしや人生を整える大切な時間へと変わっていくのです。



昔から変わらない製法で棕櫚箒づくりを行う木下さん。「うちの箒はご自宅で水洗いできますし、長く使っていただきたいので修理・メンテナンスも無料で行います。販売会には愛用する棕櫚箒を手元にリピーターが多数訪れ、そのうちの7〜8割は掃除機を使わなくなったとか！

天然素材っていいな
エコな掃除道具だね

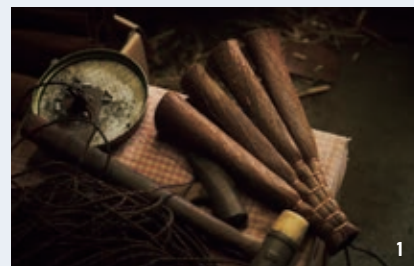


INFORMATION まごころ工房 棕櫚の郷

昭和初期から続く、棕櫚加工の伝統を受け継ぐ工房。現在は3代目が15種類以上の棕櫚の箒やたわしを手づくりし、全国各地で販売会も行う。●福岡県うきは市浮羽町浮羽301 ☎0943-77-2212 <https://www.houkiya.jp>

消耗品ではなく、一生ものの道具

木下さんによると、箒は古くから「祓う」「清める」という神聖な役割を担い、掃くことはその場をきれいにするだけでなく、心身を清める行為でもあったそうです。だからこそ日々の暮らしをうつくしく整える道具となるようにと想いを込めて、1本の箒を完成させるのに約1ヵ月かけています。まずは材料となる棕櫚皮の繊維の束を、一つひとつ見極めながら厳しく選別。玉結いをして取り付け、繊維を糸状に梳きほぐし、埃落とし・水洗浄・乾燥の工程を何度も繰り返します。さらに門外不出の特殊作業を加えることで、他の棕櫚箒にはないやわらかさとコシが実現するのです。「妥協せず、手間ひまをかけてつくった分、畳やラグの細かな編み目のごみもかき出せますし、長く使える丈夫な箒に仕上がります」と木下さん。自宅で水洗いできる棕櫚箒は珍しく、手入れをすれば15〜20年以上使えるそう。ちなみに、木下さんにとって箒は子供のような存在だとか。『うちの子（箒）は掃除が得意な働き者です』とお客さまにお渡しすると、家族の一員のように大切にしてくださるんです」と微笑みます。自分の手で掃いて、きれいになった空間を見渡すときの達成感。サッサッと掃く音の心地良さ、使うほどに馴染んでいく所作。増していく箒への愛着も相まって、掃除がいつしかたのしい時間に。そして身の回りをうつくしくすることで、内面も磨かれて自然と心に余裕が生まれる。そんな日常の幸せを、1本の棕櫚箒がそっと運んでくれることでしょう。



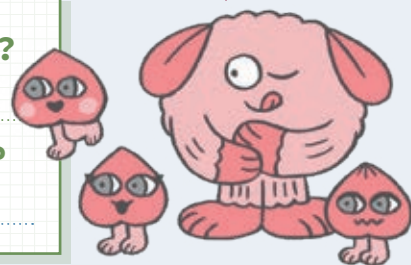
1. 棕櫚箒づくりは12工程ほどあり、厳選した棕櫚皮を玉結いにして、箒の形状に連結させます。2. 一晩水に浸けた後、布状の棕櫚皮を繊維状に梳きます。根元まで深くほぐし、粉が出なくなるまで丹念に埃落としを継続。3. 阿蘇山系の地下水で洗浄。埃落とし・水洗浄・乾燥を繰り返し、秘密の特殊作業を経て、畳の目にも届く細くしなやかな毛質に。

MOMOメモ②

Q. 掃除する時間帯はいつ？
頻度はどのくらい？

Q. 1回の掃除で出るごみや
埃の量、知ってる？

掃除の大切さに
改めて気づくね



古くから伝わる^{はつままい}初午祭の行事「鈴かけ馬踊り」が今も息づいている鹿児島県・霧島市。
地域の人々とともに馬を育て、世話をし、行事を支える学生たち。
その姿は、伝統を守るだけでなく、馬と人の絆を新しい時代へとつなげていく営みそのものです。
力強さと優しさをあわせ持つ馬と若者たちの関わりから、未来へ続く地域の物語が見えてきます。



踊り馬がつなぐまち

鹿児島県・霧島市の馬と人々の絆

馬が踊る!? 鈴の音が響く、

馬との暮らしが根付いているね!



希望に満ちた地域の未来

室町時代から約470年続く初午祭。鈴をつけた馬が太鼓や三味線にあわせてマンボのように踊る全国でも珍しい祭り
で、20数頭の奉納馬とそれに続く踊り手が参加し県内外から多くの観客が訪れる。



鹿児島県霧島市の鹿児島神宮で開催される、室町時代から続く伝統行事・初午祭。例年8万人以上が来場し、にぎわいを見せているこの祭りは「鈴かけ馬踊り」と呼ばれる全国でも珍しい風習で知られています。地元の有志によって20頭ほどの踊り馬が用意され、その後ろにそれぞれ数十名の踊り連が続き、参道を練り歩きます。その光景は圧巻。多くの鈴が連なった胸飾り、花や錦などで飾った華やかな鞍をつけた馬が、鉦、太鼓、三味線などの音楽にあわせて足踏みをし、まるで踊っているかのよう。馬に踊りを教えるのは、

日頃から馬の世話をする世話人たち。「踊るのが上手な馬から生まれた仔馬は、不思議と踊りを習得するのも早いんですよ」と教えてくれました。今でこそ数は減ってしまいましたが、その伝統は脈々と受け継がれているのです。色とりどりの装飾が施された姿は、春の訪れを告げる使者そのものです。

鹿児島神宮周辺では、かつて多くの家庭が馬を飼っていました。農耕の担い手であり、家族のような存在だった馬は、人々の生活と深く結びついていました。もともとこの踊り馬は、馬の健康や子宝そして多産を望み、農

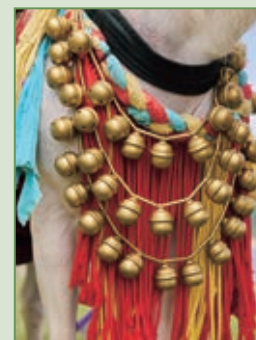
作物が豊かに実ることを願うものだったのだとか。祭りの日は“働く馬”への感謝を伝える日でもあり、子どもから年配者までが馬に触れ鈴の音に心を寄せる風景があり、現代では商売繁盛や厄払い、歳祝いといった意味でも祈念されるようになりました。馬と人がともに暮らし、祈りを分かち合ってきた地域の記憶が、この行事の根底に息づいているのです。しかし、近年は高齢化や後継者不足により、祭りの存続が危ぶまれていました。馬を扱える人も減り、このままでは伝統が途絶えるとの危機感が広がりました。

馬の世話を通じて、伝統行事をつないでいく

そんな中、立ち上がったのが「SDGs products」のオンラインキャンパス「舞空キャンパス」に集まった学生たちです。彼らはお祭りを盛り上げるアイデアを考え、世話人から教わりながら馬の世話にも参加します。世話を通じて、世代の離れた世話人や馬と学生の間には深い信頼関係が育まれていきました。2023年、学生たちの協力によって「初午Fes2023」として生まれ変わった祭りは、例年の約2倍となる15万人を動員する盛況ぶりを見せたそうです。学生たちの活動は、単に祭りを盛り上げるだけではありません。馬の世話を通じて命の大切さを学び、地域の人々との交流を通じて世代を超えた絆を育んでいます。そして何より、伝統文化の価値を肌で感じ、それを未来につなげていく責任感を身につけています。70～80代となったかつての世話人たちが、若い学生に技術を伝授する光景は、まさに世代を超えた知恵の継承。「昔はこうやって馬を洗ったんだよ」「このあたりは馬がよく汗をかくところ」。そんな会話の中で、技術だけでなく、馬への愛情、祭

りへの想いが受け継がれていきます。2026年開催の祭りに向けても、馬と人との関係をより広く発信していく予定だとか。

霧島の地で続く馬と人の物語。それは、若い世代が伝統を新しい形で受け継いでいく、希望に満ちた物語でもあります。鈴の音と馬のいななき、そして学生たちの笑い声が響く祭りの風景に、地域の未来が重なって見えてきます。



たくさんの鈴をつけた胸飾りが特徴。鞍には御幣、色とりどりの布、米俵や豆太鼓、花飾りを華やかに装飾し、頭部には集落名の旗を掲げることも。鈴の音を響かせながら健康と五穀豊穡を祈って踊る。



お馬さんを綺麗にしてる!



INFORMATION

^{はつままい}
初午祭

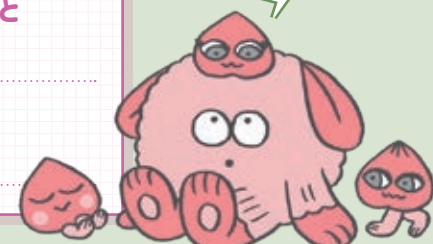
毎年旧暦1月18日を過ぎた次の日曜日に行われ、2026年は3月8日（日）開催の予定。
●鹿児島県霧島市隼人町内2496 鹿児島神宮境内およびその周辺 ☎0995-64-0895（霧島市観光PR課内 初午祭実行委員会）

MOMOメモ 03

Q. 何をお手入れしていると心が静まる?

Q. あなたが未来に受け継ぎたい伝統は?

馬が踊るの一度は見てみたい



野生馬とそれを見守る人々

宮崎県・都井岬^{と い み さ き}で生きる

青い海を背に、草原を自由に駆ける野生馬たちの姿は、この地を訪れる人々の心を打ちます。
厳しい自然の中で生き抜く馬を見守り続ける人々は、
その存在を「ともに生きる隣人」として受け止め、未来へとつなげようとしています。
野生馬と人との静かな関係性は、自然と人間のあり方を問い直す時間を私たちに与えてくれます。



INFORMATION

と い み さ き 都井岬

宮崎県串間市最南端に位置する岬。現在は国の天然記念物指定の100頭前後の野生馬が生息。都井岬観光交流館PAKALA PAKA、都井岬灯台、御崎神社などの見どころがある。野生馬保護協力金：車1台500円、バイク200円。制限速度30km/h

自然とともに生きることを謳歌する、御崎馬と人々の共生

宮崎県最南端の都井岬に暮らすのは、御崎馬^{うま}と呼ばれる日本在来馬の一種です。1697年、高鍋藩が軍用馬を生産するために藩営牧場を設置したことが始まりで、周年放牧で管理されてきました。1953年には国の天然記念物に指定され、現在100頭前後が半野生の状態です。体高約130cmの御崎馬は、都井岬の自然環境に適応した逞しい馬です。1頭の牡と数頭の牝とその仔馬で形成されるハーレム単位で行動し、春には可愛い仔馬の誕生を見ることができます。この貴重な野生馬を守り続けているのが、都井御崎牧組合の人々。年に1度の「馬追い」では健康診断を実施するなど、最小限の保護活動を行っています。

野生馬ガイドツアーを行う「おぶしょん」の世良田明呼さんは「馬たちは人間を利害関係のない存在として認識しているんです。だ

からこそ自然な行動を間近で観察できる。これは長年、餌やりをせず危害も加えないことで築かれた信頼関係の表れです」と話します。馬たちは季節とともに移動します。冬は山に入り竹や木の葉を食べ、潮風にさらされ塩分ミネラルを含んでいる岬全体の植物を食べます。荒天時は自ら森の中に避難するなど、完全に自然のリズムにしたがって生きています。彼らが生きていくことで、岬の芝の美しい景観が保たれているのです。

都井岬は、人の関与を最小限に保ちつつ遺されてきた独特の馬文化が体感できる奇跡的な場所。地域の人々が野生馬たちを静かに見守り続けてきたおかげで、今日も青い海と緑の草原に囲まれた都井岬で、野生馬たちはあるがままにのびのびと生きています。見守る人々の眼差しには、自然への敬意と未来への責任が込められていました。

馬も人も自然と
生きてるんだ



暮らしを照らす

九州の掃除と馬の風景

これまで旅してきた福岡県や鹿児島県、宮崎県。九州には、聞けば心が澄んで温まる掃除と馬の物語がありました。

さらに視野を広げてみると、九州のいたるところにまだまだ色々なトピックスが。

あなたの街や身の回りには、どんな取り組みがあるでしょうか。



年に1度の大掃除で 新しい年を気持ちよく 佐賀県・武雄温泉のすす払い

透明で柔らかな湯触りから、美人の湯ともいわれる武雄温泉。そんな武雄温泉では、その年にたまった埃を落とす「すす払い」が師走の風物詩。年に1度だけ全館を休んで行われるこの大掃除では、楼門の埃を3mもある竹笹で払ったり、元湯のタイルをブラシで磨いたり。日頃の感謝を込めて、そしてこれから訪れるお客さまを気持ちよく迎えるために隅々までピカピカにします。2025年は12月17日(水)に開催予定。地元の人も旅行で来た人も、心もからだもほぐれる時間を過ごせるはずです。

むかしもいまもまちに残る馬の足あと 福岡県・宗像市と馬の関係

福岡市と北九州市のあいだに位置する宗像市。そこに鎮座する宗像大社は、日本神話に登場する最古の神社の1つで、宗像三女神といわれる^{たごりひめのかみ}田心姫神・^{たぎつひめのかみ}湍津姫神・^{いちきしきひめのかみ}市杵島姫神が祀られています。宗像三女神は歴代天皇の守護を託されており、勅使が宗像へ遣わされた記録が残っています。また、沖ノ島からは金銅製の馬具など約8万点の奉獻品が出土しており、すべてが国宝に指定されています。福岡で一番大きい島・大島には、田心姫神が馬に乗って沖ノ島へ飛び渡った時にできた馬の足跡と伝えられる「馬蹄岩」もあり、養老馬委託・仔馬育成を行うカナディアンキャンプ大島牧場が、風車展望台と砲台跡を囲むように広がります。見渡す限り青い海に囲まれた自然豊かな場所で、歴史の風に吹かれながら、馬たちがのびのびと暮らしています。むかしもいまも、宗像と馬には深いつながりがあるのです。



MOMOメモ③

Q. 身の回りをキレイに保つために
心がけていることは？

Q. 午年の2026年、
どんな一年にしたい？

いろんな掃除と
馬の文化があるね



キレイのシェアで 広がるごみ拾いの輪 長崎市・ごみ拾いSNS 「ピリカ」

ごみ拾いSNS「ピリカ」は、写真を撮る・コメントを入力する・投稿するという3つのステップで誰でも簡単にキレイをシェアできる仕組み。長崎市ではごみ拾い活動の輪を広げ、清掃活動を盛り上げるために、ピリカを導入し自治体版「見える化」ページ「みんなできれいながさき」を九州地方で初めて開設しました。このページでは、ごみ拾いへの参加人数や拾われたごみの数の推移が一目瞭然。市民も一緒に楽しくまちをキレイにする長崎市の取り組みは、清掃活動に市民の協力を得る好事例。やってみたい！と思う人も多いのではないのでしょうか。

長崎市のごみ拾い「見える化」ページ

「みんなできれいながさき」
<https://nagasaki.city.pirika.org/>

Love&Peach Peachの舞台裏

| VOL.06 |

皆さまを空港でお迎えするために

すべての人に、より良い旅の提供を目指す、Peachの舞台裏に迫るこの企画。今回注目するのは、旅客ハンドリングのスタッフの訓練。お客さまにまた乗りたいと思ってもらうために、どんな訓練が行われているのでしょうか。

旅客ハンドリングの仕事って？

旅客ハンドリング業務とは、空港でのチェックイン業務や到着業務、空港内における各種情報の集約・各所への伝達を行うコントロール業務などのこと。お客さまに安全で快適な空の旅を提供するために、とても大切な役割です。空港は、Peachとお客さまが旅の初めに会える場所。Peachでは、お客さまの声を大切に、

愛あるフライトを直接お届けするために、まずは関西空港国内線において、旅客ハンドリングの自社体制での提供を2025年7月1日よりスタートしました。これまで外部委託を通して提供してきた旅客ハンドリング業務を、これからは自分たちの手で直接行うことで、Peachらしいサービスを目指していきます。

どんな訓練があるの？

接客訓練と接遇訓練の2つのパートで構成される、旅客ハンドリング業務の訓練。接客が商品やサービスを提供する対応を指すのに対し、接遇はそれに加えて、お客さまを思う気持ちを重視した対応を意味します。接客訓練では、接客の五原則といわれる身だしなみ、挨拶、表情、態度、言葉遣いを正しく・細かく理解し、実践へつなげます。接遇訓練は、お客さまの気持ちに寄り添った、Peachならではのおもてなしを身につけます。例えば、旅行に慣れていないお客さまには、アプリや自動チェックイン機を使ったチェックインや手荷物タグ発行機のご利用をサポートする、お手伝いが必要なお客さまには優先搭乗をご案内し、グランドスタッフから客室乗務員へ情報の引き継ぎを行うなど、具体的なシチュエーションを想定した訓練を複合訓練施設「MOMO TRAINING LAB」で実施しています。



本番さながらのカウンターで様々なシチュエーションで訓練



車いす対応もスロープを使って入念にシミュレーション

素敵な旅になりますように

Peachらしい おもてなしを目指して

空の旅を単なる移動手段ではなく、お客さまの大切な思い出に変えていくために、訓練では基礎の基礎から接客や接遇を学んでいます。「なぜ挨拶をするのか」「なぜ笑顔を心がけるのか」をお客さまの立場になって考え、その意味をしっかりと理解したうえで、現場での実践につなげています。旅客ハンドリング業務はお客さまとの距離も近いので、いただいたお声をサービスの改善に活かしやすい体制をつくり、お客さまにあった気持ちになってもらえるようなおもてなしを目指しています。

Peachの公式YouTubeチャンネルで

「Peach 新たなる挑戦 グランドスタッフ誕生の舞台裏」を公開中！



<https://www.youtube.com/watch?v=KmmumsNs-ONo>

ここだけの話！ まちの自慢を、 聞かせてください

広大な自然と多様な体験、そして人。
ここでしか味わえないことがある。

「八重山群島の経済の中心となっている石垣島は、日本最南端・最西端に位置する市です。北部の平久保半島には手付かずの自然が残り、まだ知られていない魅力がたくさん。平久保半島でアクティブな1日を過ごしてみませんか？まず、木を継ぎあわせる時に鉄釘ではなく木製のくさびと竹釘を使ってつくる伝統木造船「サバニ」に乗って石垣島が誇る大自然を堪能。久宇良地区の『吉田サバニ造船』のツアーは珊瑚礁でシュノーケリングも楽しめます。海ときたら次は空。『スカイアドベンチャーうーまぐ』のパラグライダー体験フライトで珊瑚礁を眼下に大空を飛び感動を味わってください。夜は『プライベート天体観測所・流れ星の丘』へ。世界中の天文学者からなる『ダークスカイ（旧・国際ダークスカイ協会）』が認定する星空保護区に選ばれた国立公園のすぐ隣に位置するので、世界最高レベルの星空を味わえます。最後は民宿『たいらファミリー』。店主の平良正吉さんが釣った地元の魚や島の食材を使った手料理とあたたかい人柄で迎えてくれます。ぜひ平久保半島で思い出に残る最高の1日を。」

CITY
No.06

石垣編

ロコミサイトがたくさんあるけれど、やっぱりまちは地元の人の聞くのが一番。今回は、石垣島の中でもまだ知られていない魅力を秘めた平久保半島へ。綿貫さん、ここだけの話を聞かせてください！



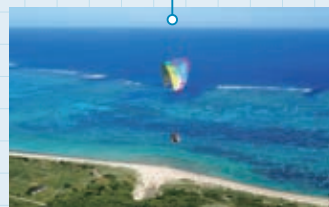
八重山ビジネスビューロー
事務局長
綿貫周平さん

吉田サバニ造船



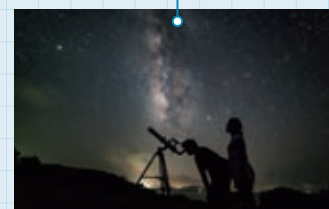
沖縄県石垣市宇平久保234-243
☎ 0980-89-2525

スカイアドベンチャー うーまぐ



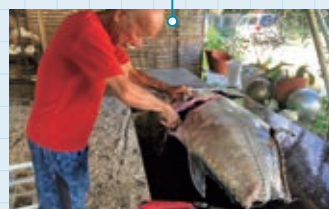
沖縄県石垣市伊原間249-42明石パラワールド
☎ 080-6497-4045

プライベート天体観測所・ 流れ星の丘



沖縄県石垣市平久保256-234
☎ 080-6480-2445

たいらファミリー



沖縄県石垣市伊原間97
☎ 090-8291-6701

旅先で見たものや会える人、口にしたものは、人にインスピレーションを与えてくれます。何かが生まれるきっかけになった旅について、語ってもらいました。

旅からすべてがはじまった

「地球は、宇宙に浮かぶ星だ」と体感した瞬間

「星の旅」といえば、私にとっては「食」である。2012年、私は皆既日食を見るためにケアンズへと飛んだ。「ダイヤモンドリング」などの画像でおなじみの、あの神秘的な天体ショーは、「皆既日食帯」と呼ばれる細い帯状のエリアで見ることができない。故に日食ファンは皆既日食を求めて、世界各国を飛び回るのである。ただ、難しいのは「行ったからといって見えるとは限らない」点である。曇れば、見えないのである。大枚はたいて海を越えても、その瞬間に雲がかかってしまえば、すべておじゃんになる。しかしそんなギャンブルのような一瞬を追い求めて、多くの人が旅をする。実際、皆既日食を目の当たりにして「たしかに、その価値がある」と私は思った。

肉眼で見る皆既日食は、それまで見たあらゆる映像とは似ても似つかないものだった。あれは、写真に撮れないのである。普段、地球が宇宙空間に浮かぶ星だ、ということを感じるのは難しい。皆既日食は、それを感じさせてくれる。『星の王子さま』のように、小さな星の上で宇宙に頭を突き出して生きている自分を実感できるのである。

一般に、飛行機は電車よりは不確実性が高い。天候によって欠航となるケースがよくある。しかし、こと皆既日食に関しては、飛行機は若干「不確実性が低い旅」となる。すなわち、皆既日食を機上から見る場合である。雲の上を飛び飛行機に、「曇って見えない」リスクはない。2035年9月2日には、日本の一部に皆既日食帯がかかる。

PROFILE
石井ゆかりさん 編



いいい ゆかり／ライター。星占いの記事やエッセイなどを執筆。独特の文体で世代を超えて人気を集め、「12星座シリーズ」（WAVE出版）は120万部を超えるベストセラーに。『星葉2026年の星占い（牡羊座～魚座）』『星ダイアリー2026』（幻冬舎コミックス）が2025年9月29日に発売。

Cleaning × Horse

Purifying Mind and Earth: A Journey of Cleaning and Horses in Kyushu

“What does cleaning mean to you?” While traveling through Kyushu, I witnessed people living in harmony with nature—caring for horses, maintaining their tools, and purifying their surroundings and lives. With 2026 being the Year of the Horse, one of the twelve animals in the oriental zodiac cycle, perhaps there’s no better time to start making cleaning a daily habit, welcoming the new year with a clear and refreshed mind.

The “Way of Cleaning,” as Taught by Shunmyo Masuno

Cleaning as a Path to
a Beautiful Heart

66 As the saying goes, “First, cleaning; second, faith.” Zen monks are taught that cleaning comes first, and faith follows naturally. In Zen practice, cleaning is a way to refine the mind. Within the temple, monks’ daily duties—known as samu—include clerical work, preparing memorial services, cooking, garden care, and, of course, cleaning. After morning duties, before lunch, and again in the afternoon, everyone sweeps and mops together. The reason temple corridors shine so brilliantly, as if polished with varnish, is that many monks meticulously wipe the same areas repeatedly, in unison. In Zen, enlightenment occurs when the confusion in one’s mind dissolves and one realizes the truth. Daily practice, including cleaning, is essential in this pursuit. By focusing wholeheartedly on cleaning, the mind clears, and worries and confusion fade away. In this way, cleaning becomes not just an act of tidying but a path toward clarity and enlightenment.

99

PROFILE

Shunmyo Masuno

Born in Kanagawa Prefecture in 1953, Masuno is the chief priest of Soto-Zen Tokuyu-san Kenkohji Zen Temple, a renowned garden designer, and professor emeritus of Tama Art University. After graduating from Tamagawa University, he trained at Shogakukan Sojiji Temple, the head temple of the Soto Zen sect. He has created numerous Zen Gardens inspired by Zen philosophy and traditional Japanese culture, earning widespread acclaim both in Japan and internationally.



66

In Zen, there is a concept called “aligning the three actions (sango),” which refers to bringing your mind, words, and deeds into harmony. One way to achieve this is through cleaning: by moving your body, organizing your surroundings, and helping others, your behavior begins to align. Adjusting your speech—how you speak to yourself and others—then naturally follows, and your mind becomes calmer and more focused. We are born with hearts that are pure and beautiful, yet over time dust accumulates—stress, worries, and distractions from the endless flow of information on the internet or social media, or even our own attachment to negativity. Cleaning offers a way to sift through this clutter, helping you see what truly matters and letting go of what does not. Still, cleaning often feels like a burden, and it’s easy to procrastinate. The key is not to force it, but to make it a gentle daily habit that brings ease and calm. Small, consistent actions—tidying one corner, putting items back in their place, opening a window to let in fresh air, straightening the bed, or arranging flowers—gradually become second nature. Starting your day with these small rituals can transform cleaning into a source of refreshment, so that when you return home at night, you feel lighter and renewed. In essence, cleaning is more than tidying your space—it is a simple gift you offer to your future self.

99

Cleaning Your Room Is Clearing Your Mind



Horses once played an essential role in human life, but maintaining that bond always required effort and cleaning. Tending to stables was hard, repetitive work. Yet it was precisely through this practice that the connection between humans and horses deepened, offering moments of reflection and self-care. Caring for horses and sweeping their stables embodies what Masuno teaches as “aligning the three actions (sango).” By removing dirt and purifying the space, we clear not only the dust of the external world but also the clutter within our own hearts. Perhaps listening to the gentle breathing of a horse while cleaning naturally calms the mind, fostering humility and gratitude. In Japan, 2026 marks the Year of the Horse, the seventh in the twelve-year oriental zodiac cycle. It represents cheerful energy and a proactive spirit. In Feng Shui, the horse also embodies flow and momentum, encouraging actions that keep energy moving rather than letting it stagnate. Just as the horse dispels yin and encourages yang, why not begin cleaning today as a way to live each day more joyfully?

MOMO memo 01

Q. What areas do you feel you haven’t had a chance to clean recently?

Q. Besides cleaning, what habits help you clear your mind?

Take joy in cleaning, and discover your true beauty!



Love&Peach Peachの舞台裏 Behind the Scenes at Peach

COLUMN

| VOL.06 |

Welcoming You at the Airport

In this column, you're invited to take a behind-the-scenes look at Peach, the airline committed to improving the travel experience for all. This time, we focus on the training of passenger handling staff. What kind of training ensures that customers want to fly with Peach again?

What Does Passenger Handling Involve?

Passenger handling operations includes tasks such as check-in and arrival procedures at the airport, as well as coordinating and sharing information with other airport staff. It is a critical role in ensuring passengers enjoy a safe and comfortable travel experience. The airport is where Peach first meets our customers at the start of their journey, making this interaction especially important.

To prioritize customer feedback and deliver flights with care, Peach began providing in-house passenger handling services on domestic routes at Kansai Airport starting July 1, 2025. Previously, these services were outsourced. By managing them directly, Peach aims to offer a uniquely Peach experience that reflects the company's dedication to hospitality and service.

What Kind of Training Is Provided?

Training for passenger handling at Peach consists of two main components: customer service training and hospitality training. While customer service focuses on providing products and services, hospitality emphasizes care and attention in addition to service. Customer service training teaches staff to understand and practice the five key principles: appearance, greetings, facial expressions, attitude, and language. The goal for the hospitality training is to foster a customer-centered approach and familiarize staff with Peach's distinctive service style. For instance, when a passenger is unfamiliar with travel procedures, staff assist them with app or self-service check-in, or help operate the baggage tag issuing machine. For passengers who need extra support, priority boarding is provided, and staff ensure that important information is communicated from passenger service personnel to cabin crew. These scenario-based trainings are conducted at the integrated training facility, Momo Training Lab.



Realistic counter training for diverse situations.

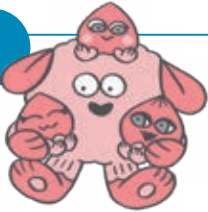


Wheelchair access simulation using a slope.

Aiming for Peach-Style Hospitality

At Peach, air travel is more than just transportation; it's an experience to be remembered. That's why hospitality training begins with the basics. Staff are encouraged to reflect on questions such as "Why do we greet customers?" and "Why do we smile?" Once they understand the purpose, they put it into practice in the field. Because passenger handling involves close contact with customers, Peach has created a system to collect and apply feedback, continually improving the service experience. The goal is to provide hospitality that leaves passengers feeling genuinely cared for and warmly welcomed.

Wishing you
a great trip!



What Is "MOMO TRAINING LAB"?

In July 2025, Peach opened the Kansai region's first comprehensive training facility, Momo Training Lab—commonly known as MOMOTORE—inside Kansai Airport Terminal 2. Equipped with the world's most advanced training technology, MOMOTORE is designed to develop talent across a variety of roles that support aviation safety. Pilots train using a Flight Training Device (FTD) that recreates a highly realistic flight environment. Cabin crew receive hands-on training in emergency response and in-flight service within a mock-up cabin modeled after a real aircraft. Passenger handling staff practice in a simulated airport counter environment and learn to assist wheelchair users using a Universal Design (UD) ramp. By experiencing and training for every aspect of flight with care and attention at MOMOTORE, staff enhance the quality of operations and services, ensuring customers enjoy a safe and secure flight experience.

“Peach's New Challenge:
Behind the Scenes of the Birth of Ground Staff” is
now available on Peach's official YouTube channel!



[https://www.youtube.com/
watch?v=KmumsNs-ONo](https://www.youtube.com/watch?v=KmumsNs-ONo)

Just Between Us!

まちの自慢を、 聞かせてください Share What Makes Your Town Special

Vast nature, unique experiences, and warm people. Discover moments and experiences you can only find here.

“Ishigaki Island, the economic center of the Yaeyama Islands, lies at Japan's southernmost and westernmost tip. The Hirakubo Peninsula, in the north, remains largely untouched and full of hidden charms. Why not spend an active, unforgettable day there? Start with the sea: explore the island's natural beauty aboard a sabani boat, a traditional wooden vessel held together with wooden wedges and bamboo nails instead of iron. Yoshida SABANI in the Kuura district offers tours that include snorkeling among vibrant coral reefs. Then, take to the skies. Enjoy the thrill of paragliding over the coral reefs with Sky adventure WOOMACOO, taking in breathtaking views as you soar above the island. As night falls, head to the private astronomical observatory, Nagareboshi no Oka, located next to a national park designated an International DarkSky Place by DarkSky (formerly the International Dark-Sky Association). Here, you can experience some of the world's most spectacular night skies. Finally, rest and recharge at the guesthouse Taira Family, where owner Masayoshi Taira welcomes guests with warm hospitality and home-cooked meals featuring locally caught fish and island ingredients. Spend a day on the Hirakubo Peninsula, and you'll leave with unforgettable memories.”

CITY
No.06

Ishigaki



Executive Director
Yaeyama Visitors Bureau

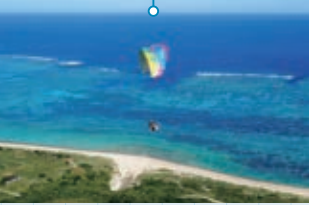
Mr. Shuhei Watanuki

Yoshida SABANI
shipbuilding



234-243 Hirakubo, Ishigaki City, Okinawa
☎ 0980-89-2525

Sky adventure
WOOMACOO



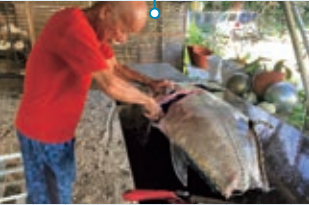
Akashi Para World 249-42 Ibaruma, Ishigaki City,
Okinawa ☎ 080-6497-4045

Private astronomical observatory,
Nagareboshi no Oka



256-234 Hirakubo, Ishigaki City, Okinawa
☎ 080-6480-2445

Taira Family



97 Ibaruma, Ishigaki City, Okinawa
☎ 090-8291-6701

The sights, people, and flavors you experience on your travels can spark ideas and inspire new creations. We asked Ms. Ishii about the journey that inspired her latest work.

It All Started with a Trip

旅からすべてがはじまった

The Moment I Realized the Earth Was a Star Floating in Space

For me, “star travel” has always meant chasing eclipses. In 2012, I flew to Cairns to witness a total solar eclipse. This mysterious celestial spectacle—familiar from images like the “Diamond Ring”—can only be seen along a narrow path known as the “eclipse zone.” Because of this, eclipse enthusiasts travel around the world in pursuit of the fleeting event. The challenge, however, is that there's never a guarantee you'll see it. If it's cloudy, it's gone. Even if you spend a fortune crossing oceans, a single cloud at the crucial moment renders it all for nothing. Yet, many chase this gamble, and witnessing a total solar eclipse with my own eyes made me realize it is absolutely worth it. Nothing compares to

seeing it in person. The experience cannot be fully captured in a photograph; it's difficult to convey the reality that our Earth is a small star floating in space. A total solar eclipse allows you to feel it viscerally. Like *The Little Prince*, you suddenly understand what it's like to live on a tiny planet with your head poking out into the vastness of space. In general, airplanes are less predictable than trains, with flights often canceled due to weather. But for total solar eclipses, planes can reduce that uncertainty. Viewing an eclipse from the air means flying above the clouds, removing the risk of an obscured view. On September 2, 2035, a total eclipse zone will be visible over parts of Japan.

PROFILE
Ms. Ishii Yukari



Yukari Ishii is a writer known for her horoscopes and essays. Her distinctive style has earned her fans across generations. Her *12 SIGNS OF THE ZODIAC Series* (WAVE Publisher) has sold over 1.2 million copies, making her a bestseller. Her upcoming works, *Hoshijori 2026-nen no Hoshi-uranai* (Aries - Pisces) and *Stellar Diary 2026* (Gentosha Comics), was released on September 29, 2025.

Peachの
機内誌

MOMOMAG

【モモマグ】

実はウェブでも読めます。

MOMOMAG is actually available to read online.

Now Archive
Available!



旅のヒント、ちょっと変わった視点、編集部のお気に入りが見つかったMOMOMAG。

これまでのバックナンバーをPeachのウェブサイトで公開中！気になる特集を、いつでもどこでも読み返せます。

Travel tips, quirky perspectives, and our editorial obsessions—
MOMOMAG is now available online! Explore past issues anytime, anywhere.

vol.1-5 好評配信中！ All 5 volumes now online!



vol.1
**温度×
団らん**
Temperature
and
Togetherness



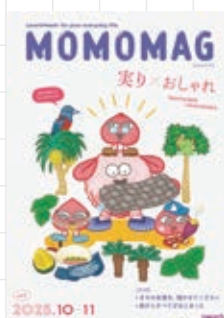
vol.2
**笑い×
台所**
Laughter
and Food



vol.3
**美×
スパイス**
Beauty
and Spice



vol.4
**ハレの日×
お茶**
"Hare" Days
and Tea



vol.5
**実り×
おしゃれ**
Fruitfulness
and
Fashionable



飛行機を降りたら「MOMOMAG」で検索
Search for "MOMOMAG" on the Peach official website

<https://www.flypeach.com/>

Search

MOMO MAG

路線図

Peachは現在、国内線25路線、国際線15路線に就航しています。今後も、日本各地そしてアジアを結ぶエアラインとしてもっと気軽にご旅行を楽しんでいただけるよう路線をさらに拡大していきます。

2025.12.1現在の路線図

※情報は予告なく変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。
※大阪(関西)ー女満別線、大阪(関西)ー釧路線は7月～9月の期間運航です。



STAFF

2025年12月発行	Editors	Illustrator	Producers
発行人 大橋一成	Rio Hirai (FIUME, Inc.) Foo Shoji (FIUME, Inc.) Akari Kato (FIUME, Inc.) Maiko Shimokawa	Emi Ozaki	Yoshihiko Todaka (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.) Yuki Tadano (MAGAZINE HOUSE CO. LTD.)
発行 Peach Aviation 株式会社	Art Director Hikari Taguchi	Translators Orange Corporation	Planning & production MAGAZINE HOUSE CREATIVE STUDIO
		Printer Chiyoda Print Media Corporation	

※本誌内の掲載記事・写真・イラストの無断転載・コピーを禁じます ※本誌内の情報やデータは発行日現在のものです ※本誌に掲載の価格は、特別な記載がある場合を除き、税込みです
Unauthorized copying of articles, photos, and illustrations is prohibited. / All information is as of the date of publication. / All prices listed include tax, unless otherwise indicated.

MOMO MAG